



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 思わぬケガをするおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大で約80kgになります。施工は対応する人数で行ってください。
- 障子脱落のおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。
 - ・必ず指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
 - ・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にこぼれ、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
 - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。
- 漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
 - ・浴室にご使用の場合は必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

■取付け上のおお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したり、アングル波打ちの原因となるおそれがあります。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。
- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37±1mmしてください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。

■取付けねじ一覧表

① スクリーナ釘φ2.1×32	ⓐ 皿木ねじφ3.5×38
② 皿木ねじ(アングル部) φ3.1×20	ⓑ 丸木ねじφ3.5×25 (テラスおよびアングル付き窓 H1400以上又はW2000以上のみ)

■取付け順序

1 枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

▲注意

- 躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にこぼれ、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

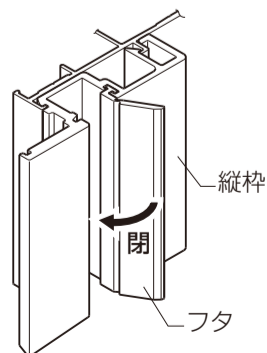
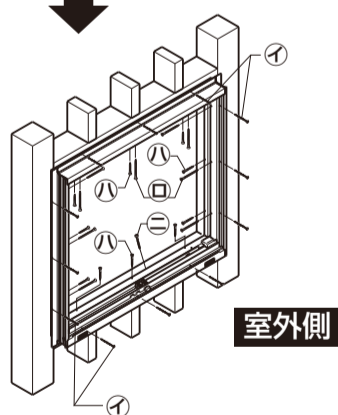
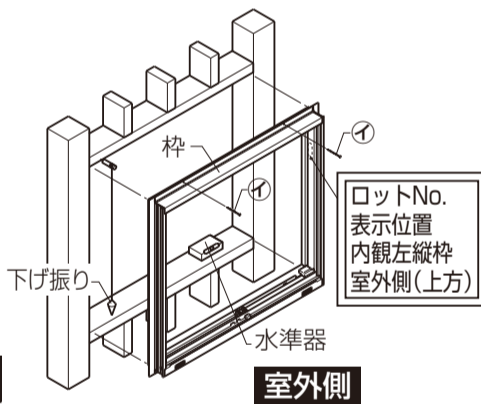
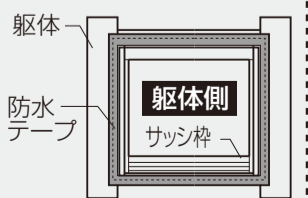
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。

③躯体取付けねじ固定後、縦枠のフタを上端または下端から閉じてください。

※フタが落ち込むおそれがありますので、フタを閉じる際はハンマーなどではたたかないでください。
※フタ付きはシンフォニーのみです。(デュオおよびHKKは対象外です。)

▲注意

- 本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



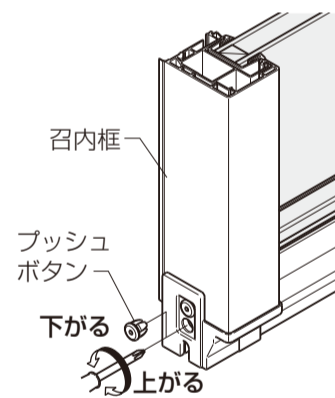
■取付け順序

■戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
※出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

●お願い

※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)



■クレセント調整

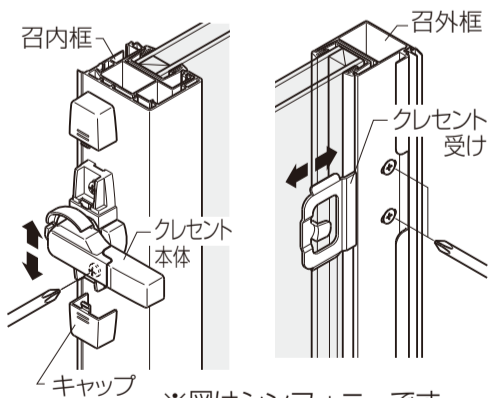
【上下方向の調整】(クレセント本体)

①キャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

【左右方向の調整】(クレセント受け)

●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】 【左右方向の調整】



※図はシンフォニーです。デュオPG・SGはクレセント受けの形状が異なります。

■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲注意

- 必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

